きずな通心第119号





原治が

七夕で賑わった高家神社。

皆が集ったこの場所を暑さをしのぐ癒やしの場にしたいと「風鈴」「竹灯り」「和傘」で境内をお色直ししました。

日没には和傘や竹灯籠にあかりが灯り、風鈴の音が心地よく心に響きます。一説によると風鈴には厄を払う意味があるとのこと。庖丁奉納殿に飾られた色とりどりの和傘から柔らかい光が放たれると、参拝者からは「きれいね~!」の声。

コロナ禍にあり自粛が求められる中、風鈴の音と本殿に続く一筋の優しいあかりが、人々の心の癒やしてくれたことと思います。今後も日本の伝統や季節感を生かした癒やしの場・集いの場を広げて行きたいと思います。



庖丁奉納殿に飾られた色とりどりの和傘

【 色紙と手拭いをプレゼント 】

今回初の「ちくら人」第1号として紹介 (裏面)の高家神社宮司さん直筆の御朱印 色紙と、庖丁式の図柄入り手拭いを1名に プレゼントします。

ご希望の方は下記電話までお申込み下さい。

千倉地域づくり協議会『きずな』

☎ 44-1113 (受付:平日8時半~17時)

締切り 8月31日(月)

※発表は発送をもって代えさせていただきます。 応募者多数の場合は抽選となります。



撮影の為マスクを外しています

【お知らせ】

毎年夏休みに行なっている「きずなの 旬食料理室」を今回は 中止とさせていただきます。

【あいさつ運動 今後の予定】

日時: 8月24日(月)始業日

9月 7日(月)

午前7時半~8時頃

場 所 : 千倉小学校校門前他



ち く ら 人 -ちゕくに**くら**しているあの人-

『きずな通心』では、千倉に暮らしている、ちょっと気になるあの人 やこの人にいろいろとインタビューしていきたいと思っています。

第1回目は高家神社の宮司、高木幹人さん。中興 の祖ともいえる高木吉右衛門の末裔です。

1620年、徳川 2 代将軍秀忠から 3 代家光 に世が変わろうとする頃、吉右衛門は今の境内でご 神体を発見しました。その後高木家が神職を代々務めてき たそうです。

お話しの最中、その誠実さが溢れ出てくるお人柄の 幹人さんは、昭和 44 年 11 月、東京で誕生。小学 校は朝夷小学校に入学、祖父に代わって父が神職を 継ぐために千倉に戻ってきたそうです。お父様はこの 時初めて神職の勉強をされたそうですが、世襲を含 め大変ご苦労をなされたそうです。

お父様のご苦労を目の当たりにしながら成長した 幹人さんは、「神主なんていやだ」と思うどころか、中 学生の頃には将来神社を継ぐことを心に決めていた 高い志を持った少年だったようです。

海の壁画再生美プロジェクトが始まります



護岸の壁画が、約30 年ぶりにお化粧直しさ れます。本年度中は、平 磯から千田までの約 478 メートルに新しい 壁画が描かれます。

ちくら漁港朝市 🕸

残念ながら、再開の見込みはたっておりません。

小・中・高校を安房で過ごし、 國學院大學文学部神道学科へ進学。 それでは「何代目になりますか?」 との問いには「残念ながら記録 が途切れているところもあり、 はっきりと何代目であるといい きれないんです。1620 年だと



すれば 400 年目の節目ではないかとの声もありま すが、こちらもハイそうですねとなかなか言えません」。

そもそも、日本の神様は「不浄・穢れ」を祓ってくれる 力をお持ちですが、その前に自分自身を正しい作法 で清めなければなりません。手水舎での作法は今に通 ずる大事な行為ではないでしょうか。

最後に、高木宮司に供養塔をご案内いただきました。 毎年3月に慰霊祭を行っているとのことですが、遺族の 方々も高齢になり参列者が少なくなってきたとのことです。

もうすぐ8月15日。太平洋戦争終結から75年。 疫病が猛威を振るう昨今、あらためて過去から学ぶこと が多いことに気づかされました。



【千倉行事カレンダー】

戸別配布の自粛や、イベントの中止が相次いだた め、掲載を中止していた「千倉行事カレンダー」を再 開する予定です。イベント等の情報をぜひお寄せく ださい。 ※情報は、fax e-mail またはお電話でお寄せください。

会議開催のお知らせ

8/11(火) 「きずなの会」令和2年度第2回会議 午後1時30分~

8/20休 「千倉港・海の里づくりの会及び朝市の会」令和2年度第3回合同会議 午後7時~

8/21金 「豊山海」令和2年度第3回会議午後7時~

※会場はいずれも朝夷行政センター2階会議室です。

注) 8月度「運営委員会」は開催しません。次回は9月28日の予定です。

懐かしのドラマ

瀬戸浜にあるカフェ、ダイ ヤモンドヘッドが舞台の ドラマ『ビーチボーイズ』が 8/17(月) 昼5時から

BS フジで再放送されます。

きずな通心第 119 号 発行部数 4,500 部 2020 年 8 月 13 日発行

発行≫千倉地域づくり協議会『きずな』 編集≫千倉担当地域づくり支援員

〒295-8601 南房総市千倉町瀬戸 2296-6 〒0470-44-1113 (平日 8:30~17:00) fax40-1013

e-mail chikura_kizuna@yahoo.co.jp ①千倉地域づくり協議会『きずな』



Facebook page